

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

<27週> 無菌性髄膜炎 - 定点当たり報告数は今週ピークを折り返したが依然として多くなっている / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

<腸管出血性大腸菌感染症> 第27週の報告数は148例(うち有症者は108例)



病原体情報
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 - Vero毒素産生性大腸菌 / 無菌性髄膜炎 / 手足口病



速報
P.6-7

2002年4月以降のB型インフルエンザ流行 - 岩手県 / 平成14年度インフルエンザHAワクチン製造株の決定について<通知>



海外感染症情報
P.8

麻疹の活動性 / コンゴ共和国で急性出血熱疑い患者発生 - 更新 / エルサルバドルのデング熱/デング出血熱 - 更新



感染症の話
P.9-11

ウエストナイル熱 / ウエストナイル脳炎
近年まで報告のなかったヨーロッパやアメリカなど西半球に1990年代中頃から流行が発生し、新興感染症・輸入感染症として注意が必要な疾患である



読者のコーナー
P.12



グラフ総覧(27週)
P.13-19



27週のデータ
P.20-27



発生動向総覧

第27週コメント 7月11日集計分

全数報告の感染症

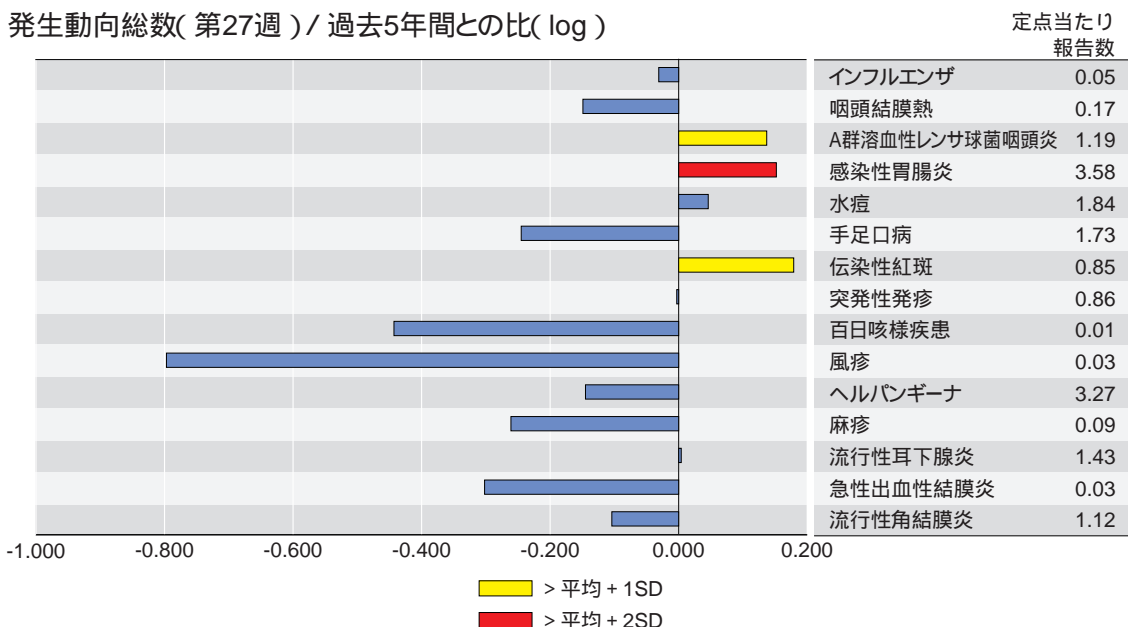
- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: コレラ1例(推定感染地: インドネシア1例) 細菌性赤痢2例(推定感染地: 中国、トルコ各1例)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症148例(うち有症者108例。千葉県から66例のO157による大学学内集団発生疑い、岩手県から11例のO111による集団発生を含む)
- 4類感染症: アメーバ赤痢7例(推定感染地: 国内5例、ベトナム1例、不明1例)、エキノкокクス症1例(単包条虫、推定感染地: ペルー)、オウム病1例、クリプトスポリジウム症1例(推定感染地: 国内)
 - 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、髄膜炎菌性髄膜炎1例
 - バンコマイシン耐性腸球菌感染症3例(vanB 1例、 vanC 2例)、レジオネラ症2例
 - 急性ウイルス性肝炎8例
 - A型5例
 - B型2例(感染経路: 性的接触2例)
 - C型1例(感染経路: 不明)
 - クロイツフェルト・ヤコブ病2例(孤発性)
 - 後天性免疫不全症候群18例(無症候性12例、AIDS 6例)
 - 感染経路: 性的接触16例(異性間8例、同性間8例)、不明2例
 - 梅毒4例(早期顕性2例、無症候性2例)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

感染性胃腸炎は夏から秋にかけての少ない時期ではあるが、過去5年間の同時期と比べて定点当たり報告数が多い。都道府県別では大分県(7.2)、宮城県(6.5)、宮崎県(6.4)からの報告が特に多い。無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は今週ピークを折り返したが依然として多く、都道府県別では熊本県(1.7)、高知県(1.4)、三重県(1.3)からの報告が多い。伝染性紅斑は今週急な増加を見せ、過去5年間の同時期と比べて報告数がやや多くなった。都道府県別では、鳥取県(2.3)、静岡県(2.2)、長野県(2.2)からの報告が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数も、過去5年間の同時期と比べてやや多くなっている。

他の疾患の定点当たり報告数は、過去5年間の同時期と比べて特別多くなっているとはいえないが、ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加を続けており、都道府県別では群馬県(7.0)、千葉県(6.7)、富山県(6.4)などからの報告が多い。咽頭結膜熱と手足口病の定点当たり報告数は引き続き例年と同様、夏の増加を続けている。都道府県別では前者が滋賀県(0.7)、埼玉県(0.4)から、後者が神奈川県(5.6)からの報告が多い。水痘の定点当たり報告数は減少しているが、都道府県別では山形県(4.2)、福島県(4.1)と多い地域が残っている。インフルエンザの定点当たり報告数は順調に減少しているが、都道府県別では沖縄県(2.3)からの報告が多い。流行性耳下腺炎と流行性角結膜炎は全体の定点当たり報告数に大きな変化はないが、都道府県別で前者が岩手県(4.2)と宮崎県(4.1)で多く、後者は宮崎県(6.0)、群馬県(4.3)で増加が見られる。風疹の定点当たり報告数は全体としては例年より低い水準を保っているが、岡山県(0.2)、福岡県(0.2)からの報告が依然として多い。

発生動向総数(第27週)/過去5年間との比(log)

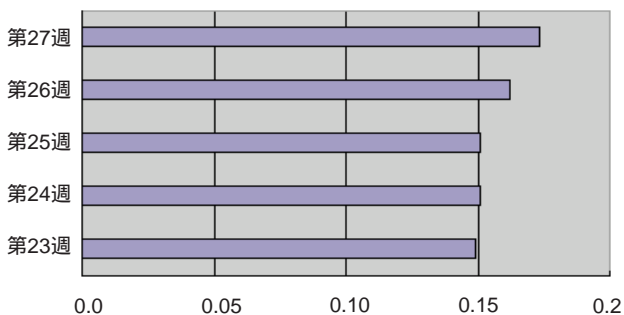


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

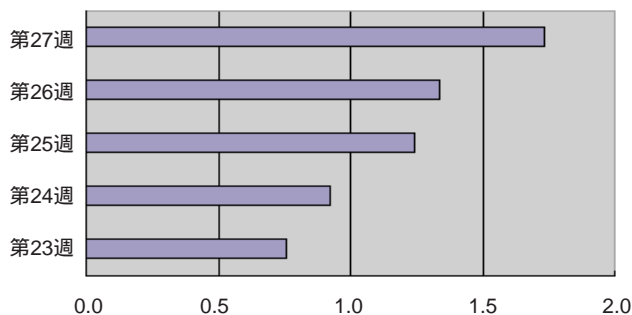
最近の注目疾患－5週間の動き

咽頭結膜熱、手足口病、伝染性紅斑、ヘルパンギーナなどの定点当たり報告数は、いずれも前週に比べて増加している。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘の定点当たり報告数は前週に比べて減少した。

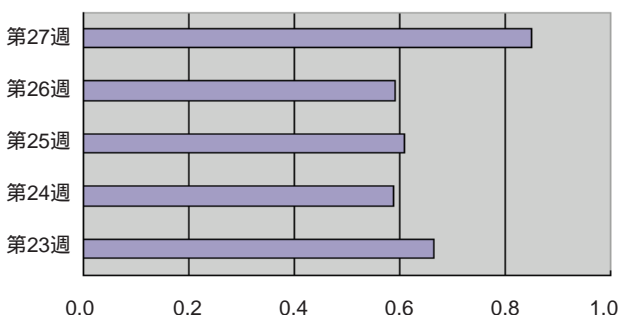
咽頭結膜熱



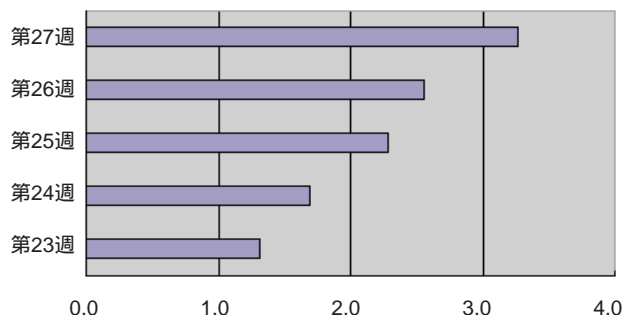
手足口病



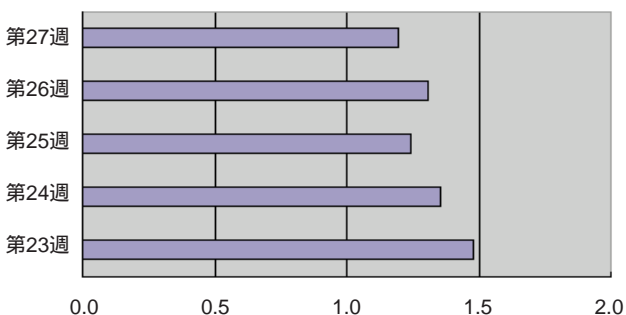
伝染性紅斑



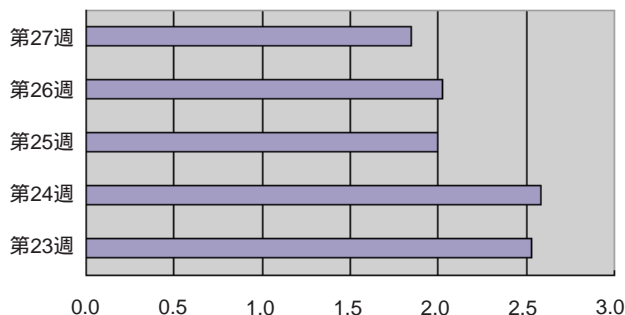
ヘルパンギーナ



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



水痘



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。

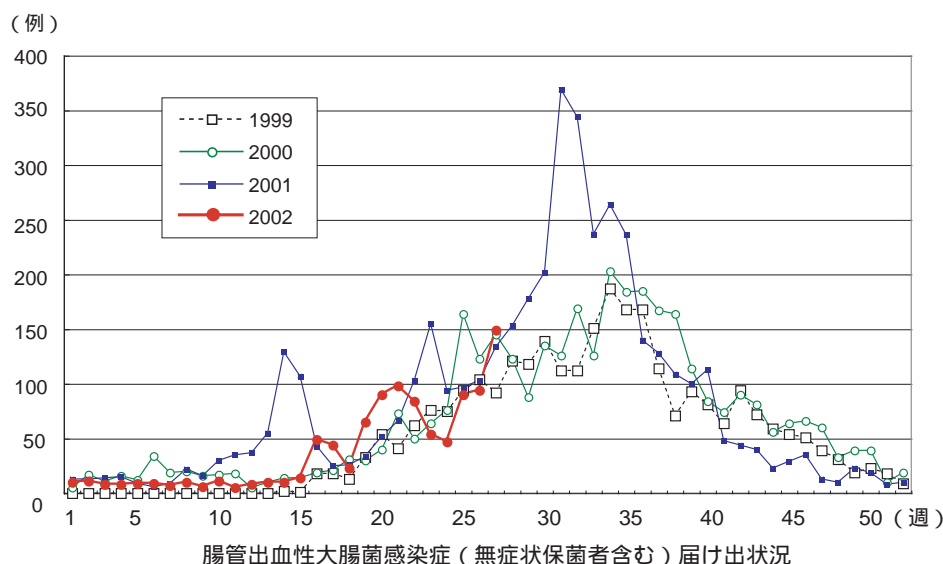
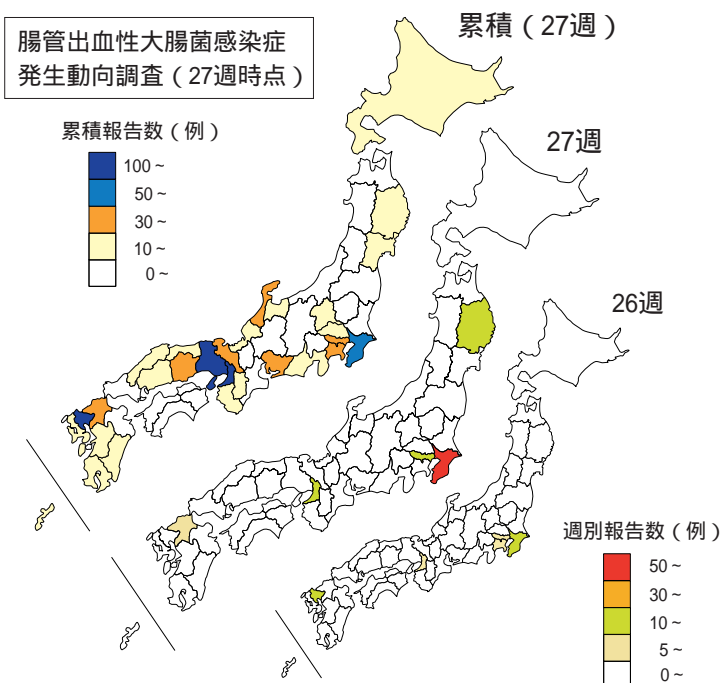


注目すべき感染症

腸管出血性大腸菌感染症

2002年第27週の報告数は148例で(昨年同時期は115例) 性別では男93例、女55例であり、うち有症者は108例であった。都道府県別では千葉県68例、岩手県12例、大阪府10例の順であるが、千葉県では大学学食内が疑われるO157による66例、岩手県では小学校のキャンプが疑われるO111の11例が含まれている。5歳毎の年齢階級別にみると0歳、1～4歳、70歳以上は別扱い) 15～19歳42例、20～24歳35例、1～4歳と10～14歳のそれぞれ13例の順である。血清型についてはO157が119例(VT1 3例、VT2 96例、VT1+VT2 17例、不明3例)、O111が14例(VT1 13例、VT1+VT2 1例)、O26が12例(VT1 10例、VT2 1例、VT1+VT2 1例)であった。

第27週までの累積報告数は1,017例(昨年の同期は1,323例)となっている。累積報告数を都道府県別にみた場合、大阪府および兵庫県105例、佐賀県100例の順である。また、累積報告数を5歳毎の年齢階級別にみると(0歳、1～4歳、70歳以上は別扱い)、1～4歳236例、5～9歳142例、20～24歳97例の順である。





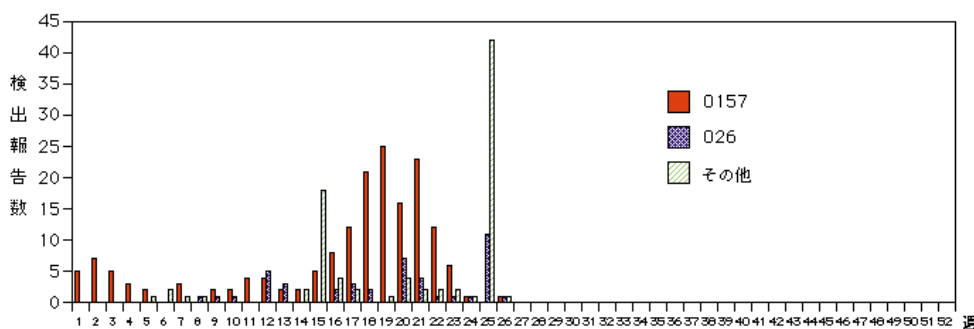
病原体情報

*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。
(2002年7月12日現在報告分)

ヒトから分離されたVero毒素産生性大腸菌 2002年

検出総数は301件で、うちO157が171件、O26が44件、その他の血清型が86件である。最近では、第25週をピークに佐賀県の保育所を中心とした集団発生でO111が44件、第26週にO157およびO26がいずれも佐賀県から1件ずつ報告されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌検出報告数、2002年 (病原微生物検出情報: 2002年7月12日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。

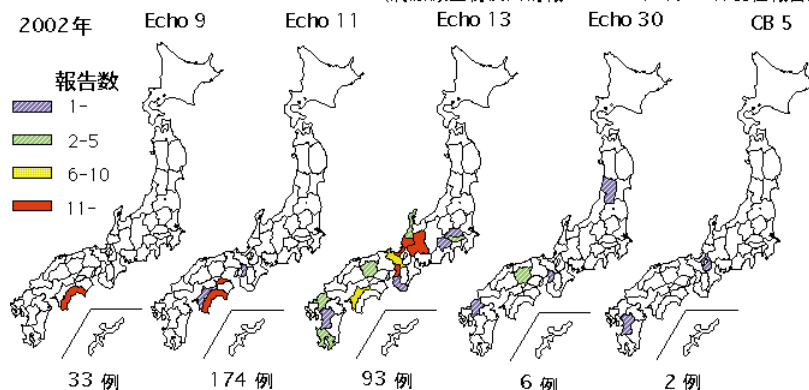


Infectious Agents Surveillance Report

無菌性髄膜炎患者から分離されたウイルス 2002年

エコーウイルス(E)322件(11型174、13型93、9型33、18型9、30型6、16型5、14型2)、ムンプスウイルス22件、B群コクサッキーウイルス(CB)3件(5型2、3型1)の分離が報告されている。E11は香川県157、高知県15と、ほとんどが四国からの報告であり、第20週以降の香川県からの報告は依然増加している。E13は埼玉県、岐阜県、熊本県、鹿児島県からも分離が報告されており、全国的な広がりをみせている。E9は第22週以降の高知県からの分離報告がさらに増加している。E30は岡山県3、山形県、大阪府、北九州市から各1件、CB5は滋賀県、熊本県各1件の分離報告である。

都道府県別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス検出状況、2002年 (病原微生物検出情報: 2002年7月12日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

手足口病患者から分離されたウイルス 2002年

A群コクサッキーウイルス(CA)16型56件(島根県16、高知県16、福島県11など)、エンテロウイルス71型5件(埼玉県2、神奈川県2、高知県1)、CA4型1件(福岡市)、エコーウイルス16型1件(奈良県)の分離が報告されている。



2002年4月以降のB型インフルエンザ流行 - 岩手県

2001/02シーズンのインフルエンザの流行は、3月上旬をピークとした主流行がほぼ終息した4月中旬から再び流行がみられ、流行規模は小さいものの、5月下旬まで流行が続いた。同時期県内全域で、小中学校におけるインフルエンザ様疾患の集団発生も報告された。一方、病原体定点からのインフルエンザ様患者の検体からは、B型インフルエンザウイルスの検出が3月から始まって6月現在(24週)まで続いている。このように本県では、今シーズンの流行は例年と異なる状況を呈しているため、その概要について報告する。

1. 患者報告数の概要

インフルエンザ患者数の推移をみると、第1～15週まで(以下前期)と第15週以降(以下後期)の二峰性の流行を示していた。この報告患者を年齢別に6～19歳の群とそれ以外の年齢群に分けると、前期と後期とでは両群の割合は逆転しており、後期においては6～19歳群の割合が多かった。さらに、後期患者数の前期患者数に対する比を年齢群別にみると、6～19歳の群で有意に高かった。

2. インフルエンザウイルス分離検出状況

ウイルス分離はトリプシンを添加した培養液を用い、MDCK細胞により実施した。初代培養でCPEの不明瞭な検体については、2代目まで培養を実施した。HAおよびHI試験はモルモット赤血球を用いて行った。B型インフルエンザウイルスは3月上旬から計17株検出された。このうち3月と4月に分離された4株、5月に分離された1株および6月に分離された1株(計6株)については、国立感染症研究所より分与された2001/02シーズン用フェレット抗血清のいずれに対してもHI価10未満を示し、同定が困難であった。その他10株については、B/Johannesburg/5/99にHI価10～40、B/Akita(秋田)27/2001にHI価10～20を示し、B型インフルエンザウイルスと同定された。また、小中学校での集団発生患者由来の株からは、B/Johannesburg/5/99にHI価10を示した。同定困難であった株を含めこれら17株のすべてについて、インフルエンザ迅速キット「インフルA・B - クイック生研」を用い検査を行ったところ、B型インフルエンザと判定された。さらにこれら17株を、HA領域に設定したプライマーを用いてRT-PCR反応を実施した結果、すべてB型インフルエンザウイルスと同定された。

3. 考察

3月下旬～5月まで続いたインフルエンザ流行では、患者の発生は6～19歳の群(特に小学校高学年から中学校年齢)が多かった。この傾向は仙台市の報告(IASRホームページ病原体検出速報 <http://idsc.nih.go.jp/rapid/pr2681.html> 参照)と一致した。この時期患者からはB型インフルエンザウイルスが検出されており、B型インフルエンザウイルスによる感染が主体であったと推察された。また、分離されたウイルスは、今シーズン用の同定キットで同定困難なものを含む2種類以上のウイルスによる流行であったと推察された。

流行は終息には向かっているものの、6月現在もB型インフルエンザウイルスが検出されていることから、今後の動向が注目される。

岩手県環境保健研究センター

高橋朱実 佐藤直人 藤井伸一郎 佐藤 卓 齋藤幸一 田澤光正

(IASR2002年7月号掲載記事より抜粋、詳細は同号参照)

<通知> 平成14年度インフルエンザHAワクチン製造株 の決定について

医薬発第 0617001号

平成14年6月17日

国立感染症研究所長殿

厚生労働省医薬局長

生物学的製剤基準(平成5年10月厚生省告示第217号)の規定にかかる、平成14年度のインフルエンザHAワクチン製造株について、下記のとおり決定したので通知する。

記

A型株

A/ニューカレドニア/20/99(H1N1)

A/パナマ/2007/99(H3N2)

B型株

B/山東/7/97



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ (<http://www.forth.go.jp/>) をご覧下さい。

麻疹の活動性

Health Canada 2002年7月4日

麻疹は非常に伝染しやすいウイルス性急性感染症である。幼年期の発疹と発熱を呈する疾患のうちで最も重症である。麻疹は主に幼児に感染するが、年長児や大人でも感染することがある。麻疹はヨーロッパやアジアのいくつかの先進国を含む多くの国で依然よく見られる疾患である。流行はいつでも起こりうる。温帯では、麻疹は主に晩冬や早春に、熱帯では主に乾季に流行する。

今回、数カ国で麻疹の患者の増加が見られた。それに対して、伝播のリスクを減らすためにワクチン接種による対策を行った。2002年1月1日以降、麻疹の活動性が高いと報告されている国は、南米ではコロンビア、ベネズエラ、ヨーロッパではデンマーク、イタリア、太平洋地域では、グアム、パプアニューギニアなどである。

コンゴ共和国で急性出血熱疑い患者発生 - 更新

WHO/CSR 2002年7月10日

Cuvette Ouest地域のMbomo地区で8名の急性出血熱疑い患者が発生し、そのうち5名が死亡したという報告があった。Mbomo地区で6月6日に死亡例が発生して以来、新たに2名の疑い患者が報告された。

保健当局は、疑い患者との接触者40名以上を確認したものの、住民の協力が得られず、調査は進んでいない。

エルサルバドルのデング熱/デング出血熱 - 更新

WHO/CSR 2002年7月12日

6月29日現在エルサルバドル保健省は、1,773名のデング熱患者が発生し、そのうち6名が死亡したと報告した。すべての州で流行が発生しており、最も流行している州は、San Salvador、Santa Ana、CabanasおよびCuscatlanである。



感染症の話

ウエストナイル熱 / ウエストナイル脳炎

ウエストナイルウイルスは1937年に初めて、ウガンダのWest Nile地方で発熱した女性から分離された。本ウイルスは鳥と蚊の間で感染環が維持され、主に蚊を介してヒトに感染し、発熱や脳炎を引き起こす。我が国において感染例は認められていないが、近年まで報告のなかったヨーロッパやアメリカなど西半球に1990年代中頃から流行が発生している。北米の流行では従来と異なり、感染鳥の発病や死亡率、ウマとヒトにおける流行、重篤な脳炎患者の発生が顕著である。新興感染症・輸入感染症として注意が必要な疾患である。

疫学

ウエストナイルウイルスはアフリカ、ヨーロッパ、中東、中央アジア、西アジアなど広い地域に分布している(図1)。最近のウエストナイル脳炎の流行は、アルジェリア(1994)、ルーマニア(1996～1997)、チェコスロバキア(1997)、コンゴ共和国(1998)、ロシア(1999)、アメリカ(1999～2001)、イスラエル(2000)などで発生している。2001年末までに、北米では149例のウエストナイル脳炎患者が発症し、死亡者は18人認められている。CDCによれば、北米のウエストナイルウイルスは東海岸から中部諸州に拡大し、カリブ海諸国にも広がっている。ウマでの流行はモロッコ(1996)、イタリア(1998)、アメリカ(1999～2001)、フランス(2000)などで発生している。媒介蚊は主にイエカの仲間であるが、我が国では、日本脳炎のベクターであるコガタアカイエカやヤマトヤブカなどもなり得ると考えられる。本ウイルスが本邦に侵入すると、蚊や鳥を介して広範囲に広がる可能性がある。

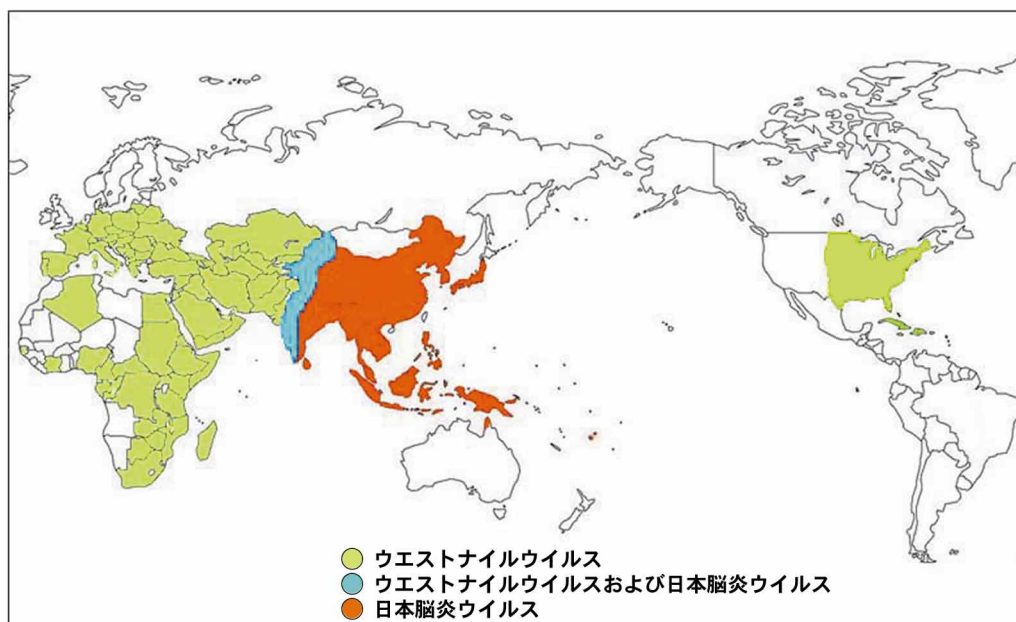


図1. ウエストナイルウイルスと日本脳炎ウイルスの分布地域

病原体

ウエストナイル熱 / ウエストナイル脳炎は節足動物を介してヒトに伝播するアルボウイルス感染症の一つで、日本脳炎ウイルスと同じフラビウイルス属のウエストナイルウイルスによって引き起こされる。本ウイルスの感染環は鳥と蚊によって維持されている。アジアではコガタアカイエカが主要な媒介蚊である。ヒト、動物は終宿主であり、低レベルのウイルス血症が認められる。フラビウイルス属の中でも、特に日本脳炎ウイルス、セントルイス脳炎ウイルス、マレー渓谷脳炎ウイルス、Kunjinウイルスと相同性が高く、抗原的に交叉反応を示す日本脳炎血清型群(Japanese encephalitis serocomplex)に分類される。本ウイルスの電子顕微鏡像を図2に示す。

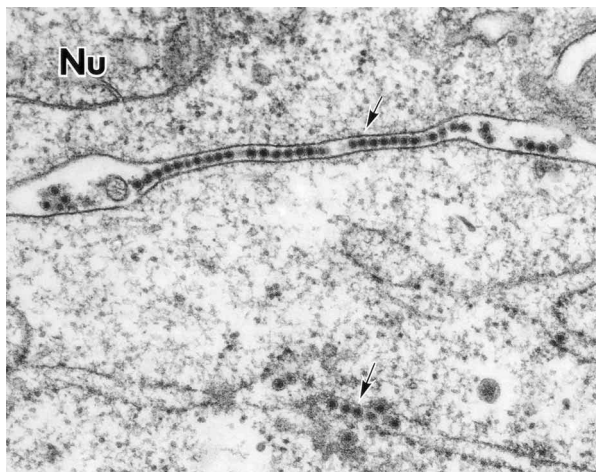


図2. ウエストナイルウイルスの電子顕微鏡写真
(Vero細胞に感染した本ウイルス: 多数の粒子が細胞間に並んでいる)

(原図: 国立感染症研究所)

ウエストナイルウイルスは成熟期のメス蚊の吸血時に増幅動物である鳥類に伝播され、腸で増殖後、唾液腺へ運ばれる。鳥類は曝露に続いて1～4日の間にウイルス血症を起こす。

流行には渡り鳥の存在や感染蚊の移動の関与が示唆されているが、成熟蚊の越冬や経卵性伝播の報告もある。その他、ダニの自然感染例や、節足動物の媒介なしでハムスターおよびマウスの実験感染例も報告されている。

臨床症状

ヒトにおける潜伏期間は3～15日である。感染例の約80%は不顕性感染に終わる。発症した場合多くは急性熱性疾患であり、短期間(約1週間)に回復する。一般的に、3～6日間程度の発熱、頭痛、背部痛、筋肉痛、筋力低下、食欲不振などがみられる。皮膚発疹が約半数で認められ、リンパ節腫脹を合併する。時に Dengue 熱と似た熱型を取る。さらに重篤な症状として、頭痛、高熱および方向感覚の欠如、麻痺、昏睡、震え、痙攣などの髄膜炎・脳炎症状が挙げられるが、重篤な症状を示すのは感染者の約1%といわれている。これらは主に高齢者にみられ、致命率は重症患者の3～15%とされる。アメリカ合衆国の患者のデータでは、筋力低下を伴う脳炎が40%、脳炎が27%、無菌性髄膜炎が24%にみられている。

病原診断

検体として血清や脳脊髄液を用い、ウイルスRNAの検出、培養細胞や乳飲みマウスを用いたウイルス分離が行われる。RT-PCR法によりウイルスRNAを検出する方法は検出感度が高く、特異性にも優れている。ウイルス分離は発病早期の血液または脳脊髄液から可能である。

ウイルス分離できなかった場合は血清診断に頼らざるを得ない。しかし、血清診断は、日本脳炎血清型群に属するウイルス間での交叉反応があるため、注意を要する。実際的にはELISA法、中和試験、補体結合試験、赤血球凝集抑制反応試験などが用いられている。IgG捕捉ELISA、補体結合試験、赤血球凝集抑制反応は他のフラビウイルスに対して交叉反応を示す。IgM捕捉

ELISA法でも、日本脳炎と極めて近い抗原性を示すため、多少の交叉反応を示す。感染しているフラビウイルスを鑑別するためには、中和試験が最も特異的である。急性期と回復期の血清または髄液での中和抗体価が4倍以上上昇すれば、陽性と判断できる。ペア血清の採取には2週間以上の期間を空けることが望ましい。

これらの検査は、国立感染症研究所ウイルス第一部、長崎大学熱帯医学研究所分子構造解析分野で可能である。

治療・予防

一般に、臨床症状を呈したヒト、ウマなど動物における本症に対する治療法はない。実験感染動物(マウス)においてゲンタマイシン、メトロン、ステロイドなどによって回復例が報告されている。一般的には対症療法を行う。ワクチンは未だ開発段階であるが、動物実験モデルで日本脳炎ワクチンにより感染を防御する可能性を示唆する報告がある。日本のように未だ発生のない地域においては、初期の段階でウイルス検査を迅速に実施することが、感染の広がりを最小限に抑えることにつながる。鳥類の感染の把握、特にカラスの死亡などはウイルスの活動動向を知る上で最高の指標となる。あるいは、蚊のコントロールおよび動向の把握と公衆衛生教育、確定診断を行うための検査法の確立と普及も重要となる。発生地域においては、個人的に蚊との接触を防ぐことが重要である。また、海外渡航者で発熱・精神症状が認められウイルス性脳炎が疑われる患者、あるいは髄液細胞増多、発熱を伴ったギランバレー症候群、非細菌性髄膜炎、あるいは急性弛緩性の麻痺を呈した患者に対しては、本症の可能性を考慮する必要がある。

感染症法における取扱い

ウエストナイル熱 / ウエストナイル脳炎は4類感染症定点把握疾患「急性脳炎(日本脳炎を除く)」に該当する疾患である。急性脳炎は、全国約500カ所の基幹定点医療機関より毎週報告がなされる。報告の基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ以下の3つの基準をすべて満たすもの

- ・発熱
- ・突然の意識障害
- ・以下の疾患の鑑別診断

熱性痙攣や代謝性疾患、脳血管性疾患、脳腫瘍、外傷など

(炎症所見が明らかではないが同様の症状を呈する脳症も含まれる)

また、原因となった病原体の検索が望ましく、判明した場合にはその名称についても併せて報告すること。

上記の基準は必ずしも満たさないが、診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、病原体診断や血清学的診断によって当該疾患と診断されたもの

従って、診断した医師が全数届け出る全数把握疾患ではない。しかし、ウエストナイルウイルスは現在日本には存在していないことから考え、仮にウエストナイル熱 / ウエストナイル脳炎の診断がなされた場合には、地方感染症情報センター、あるいは国立感染症研究所感染症情報センターへの情報提供が強く望まれる。

(国立感染症研究所ウイルス第一部 伊藤美佳子)



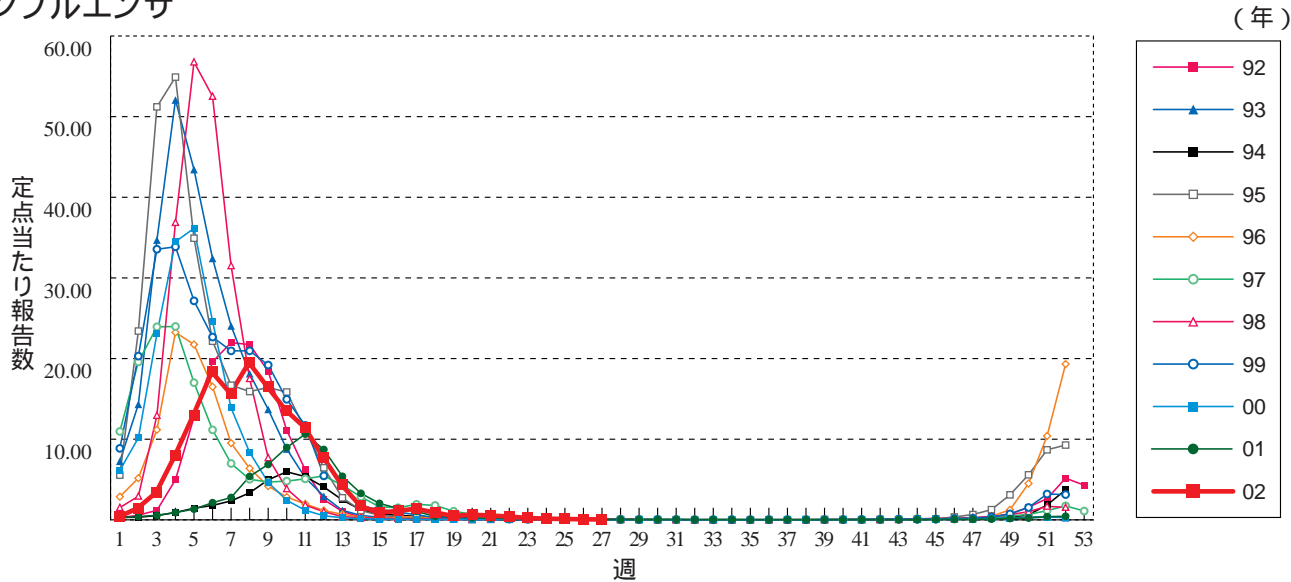
読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

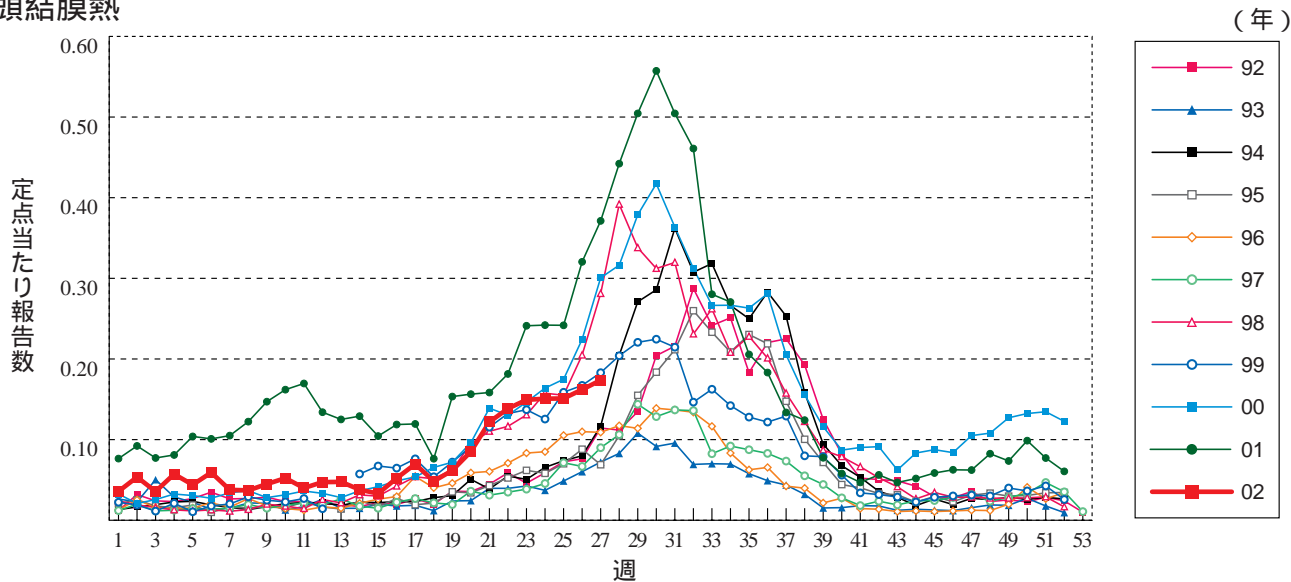
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(27週)

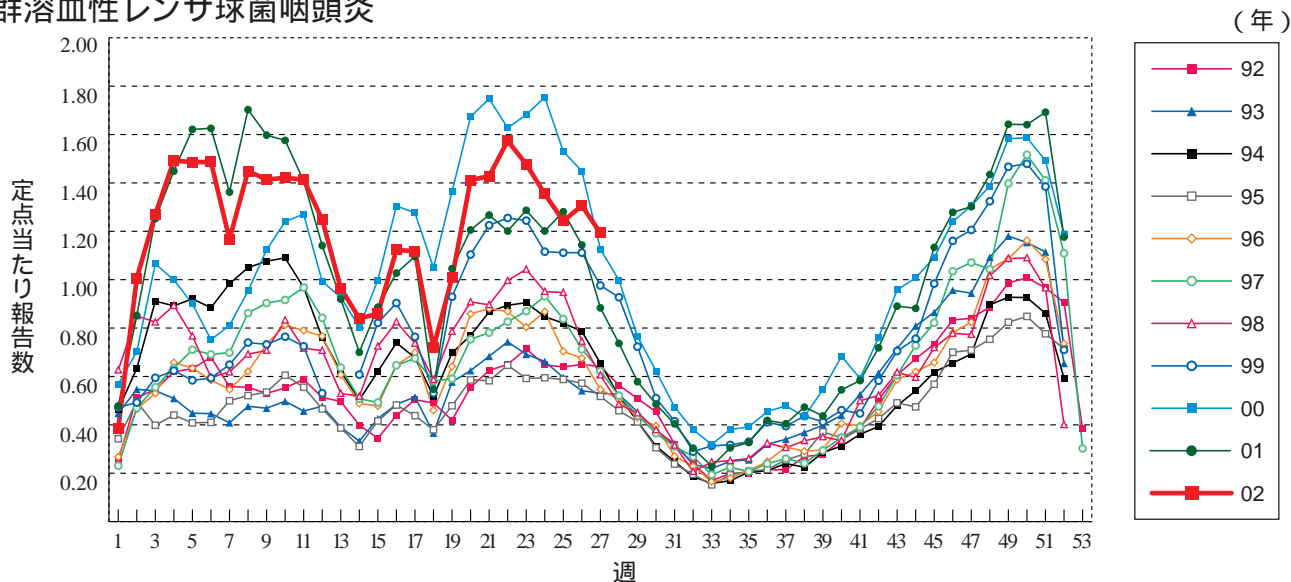
インフルエンザ



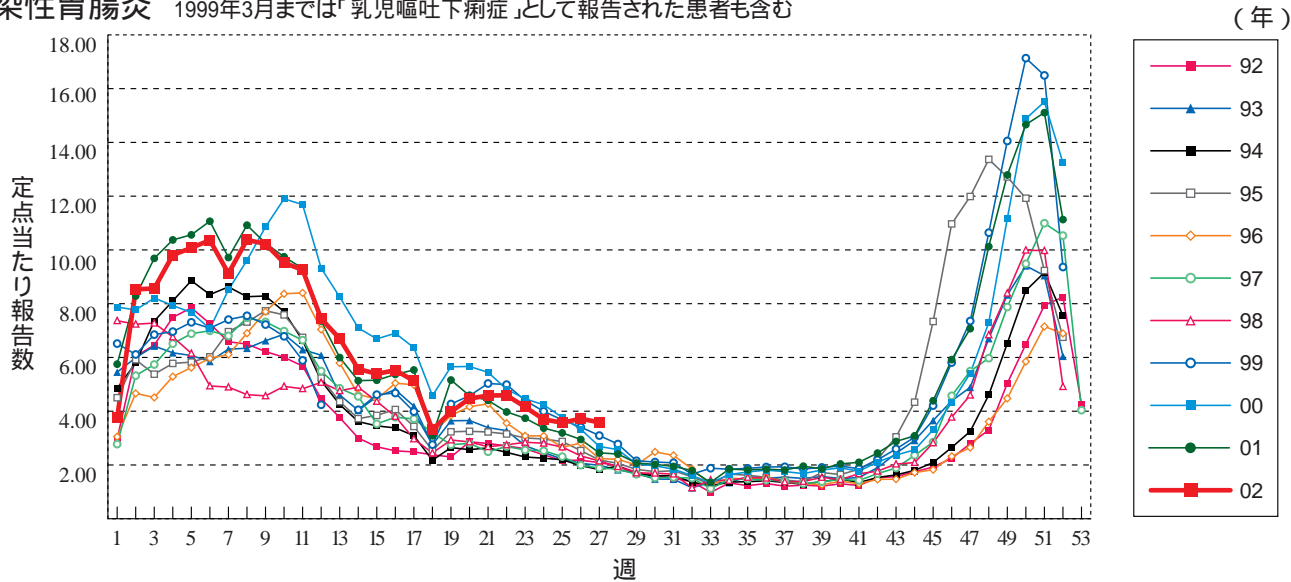
咽頭結膜熱



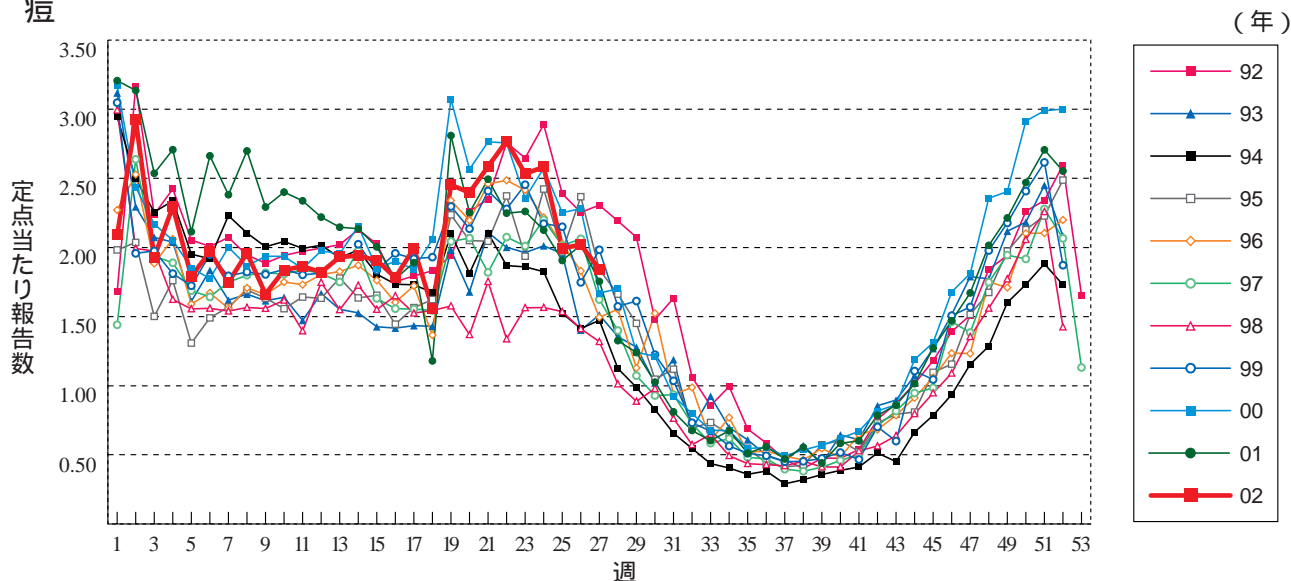
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



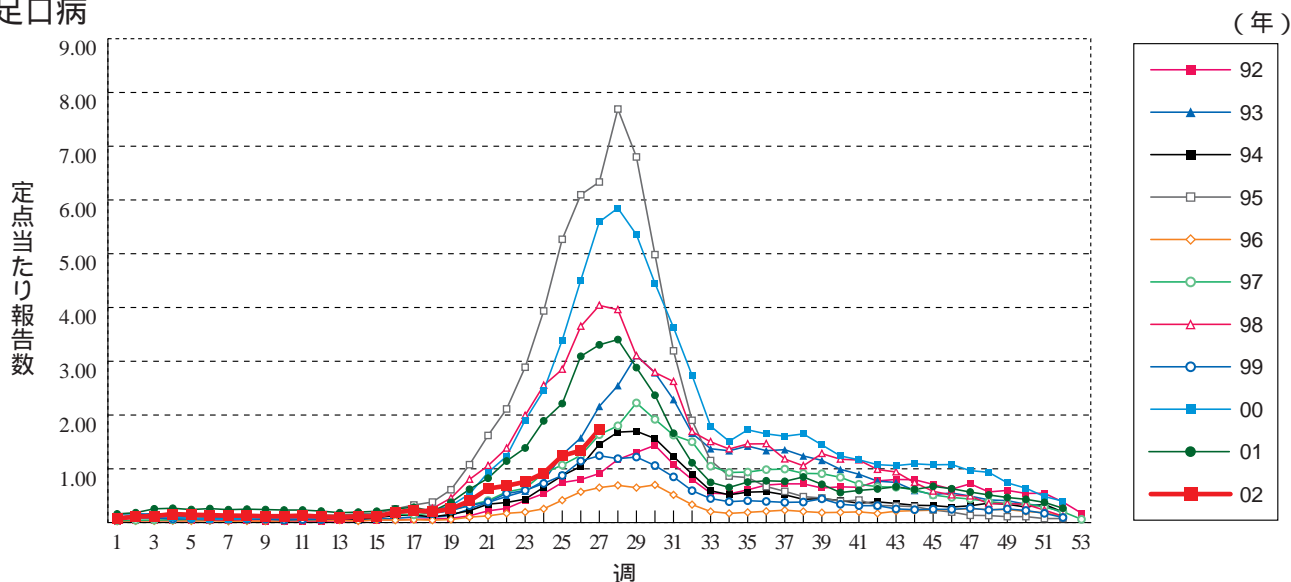
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



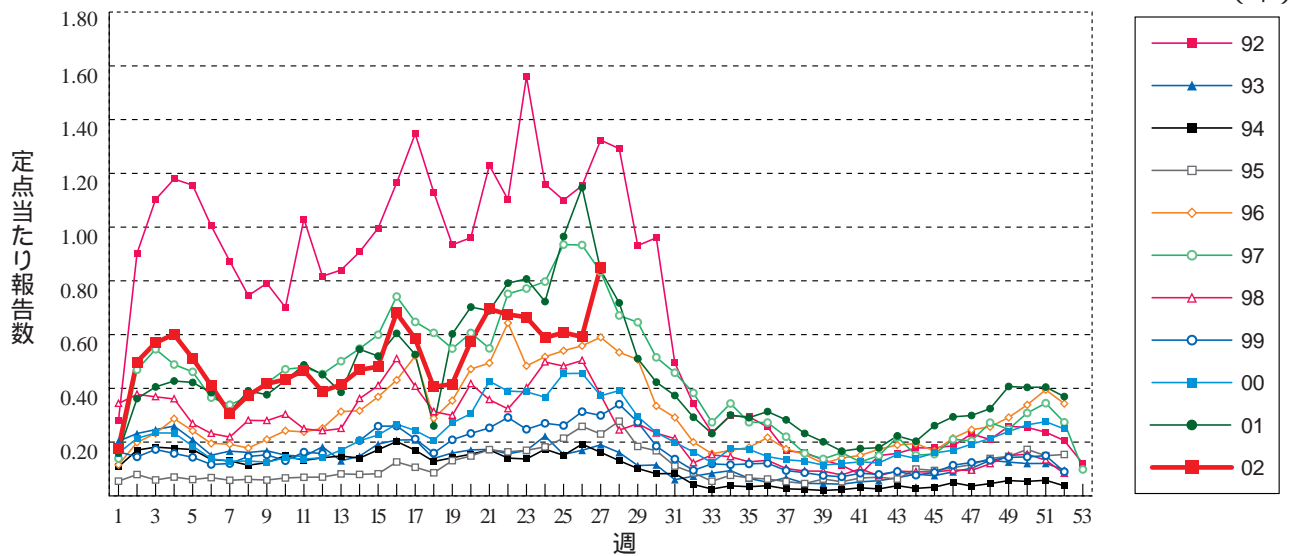
水痘



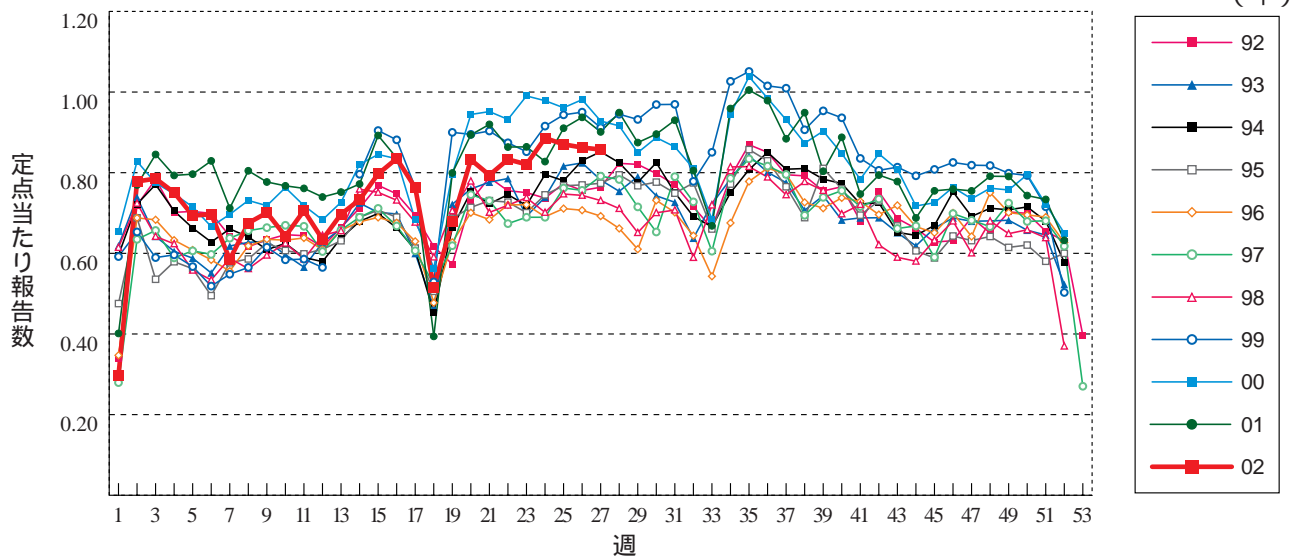
手足口病



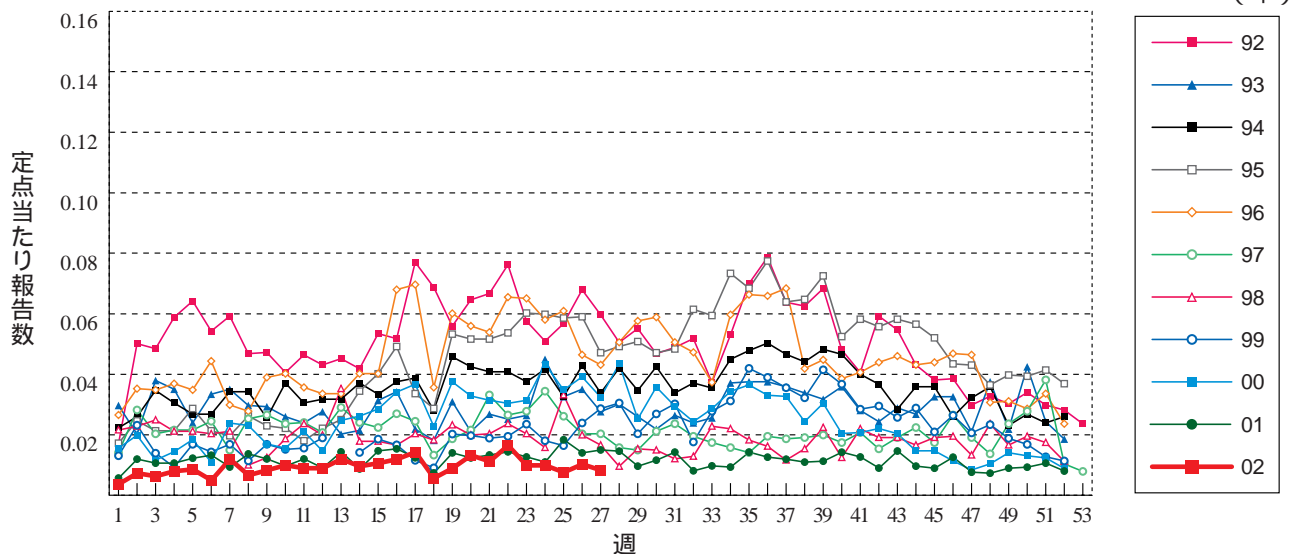
伝染性紅斑



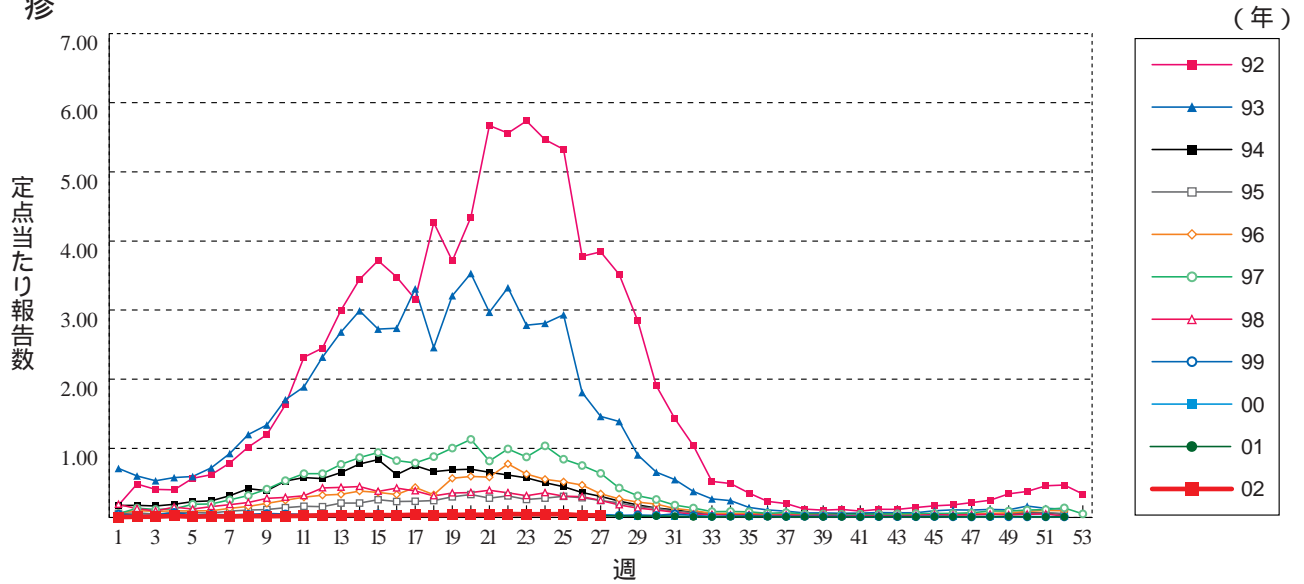
突発性発疹



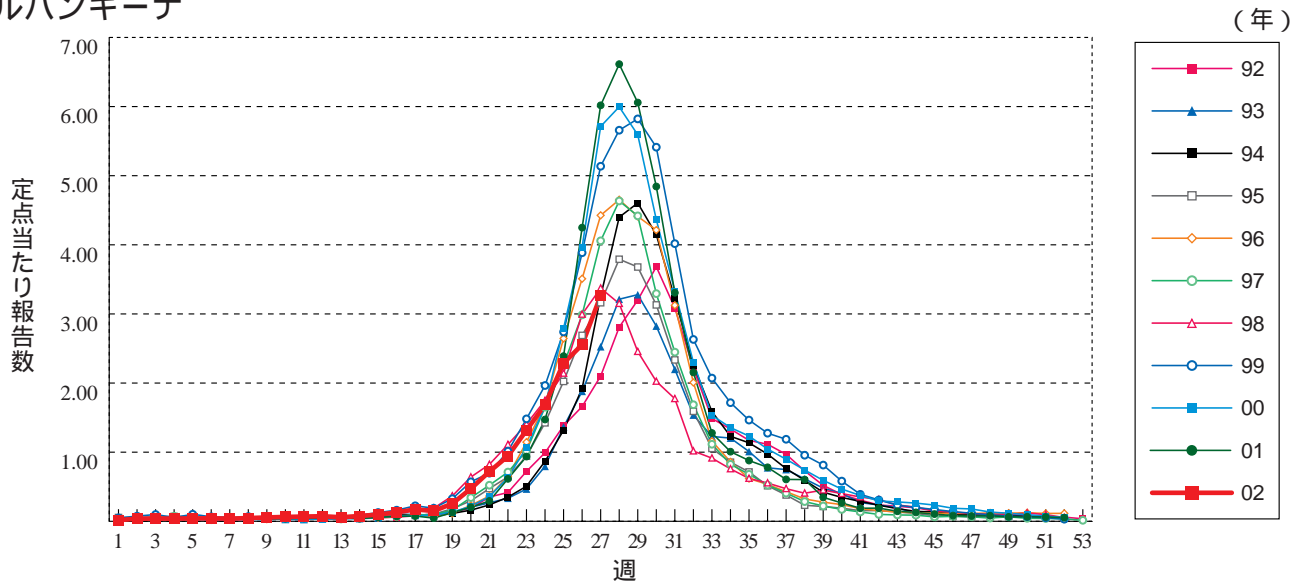
百日咳



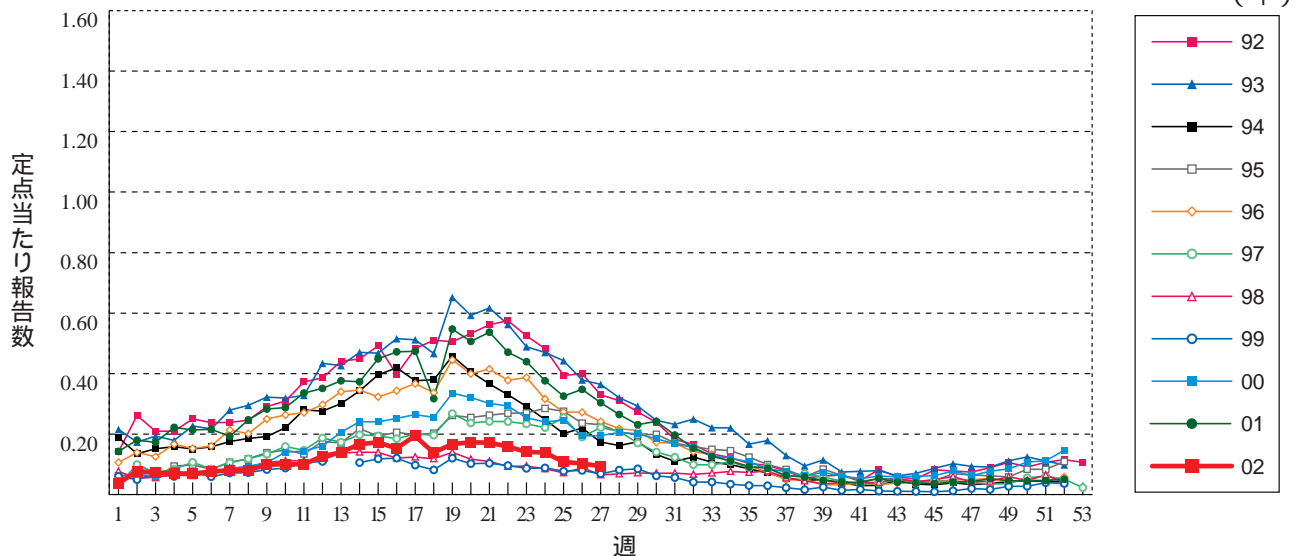
風 疹



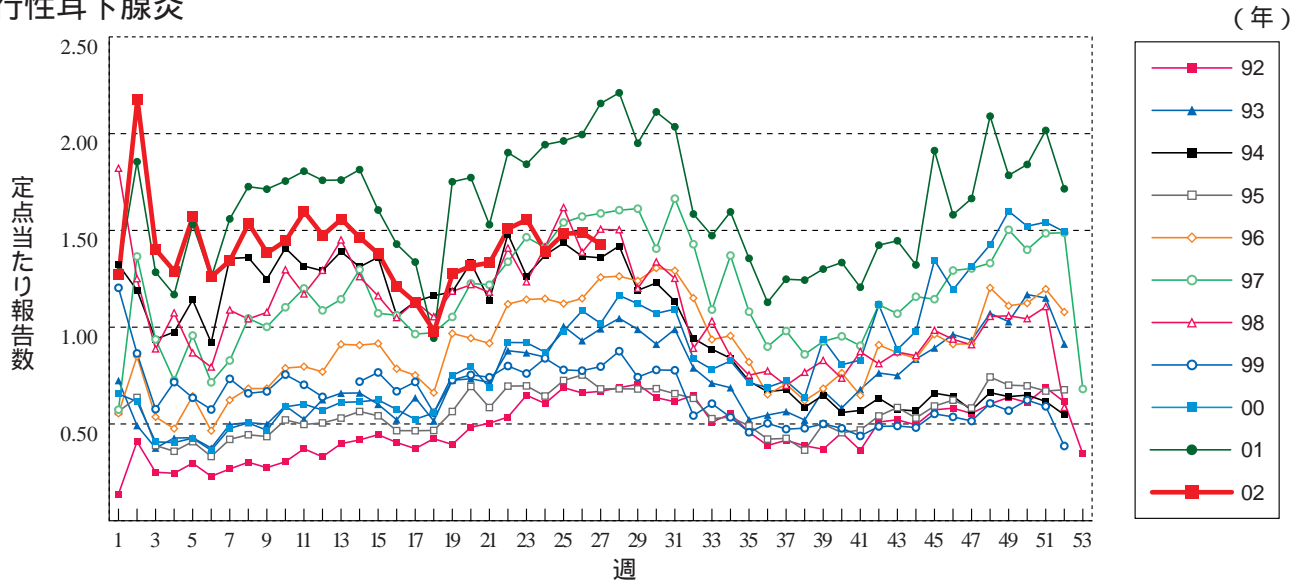
ヘルパンギーナ



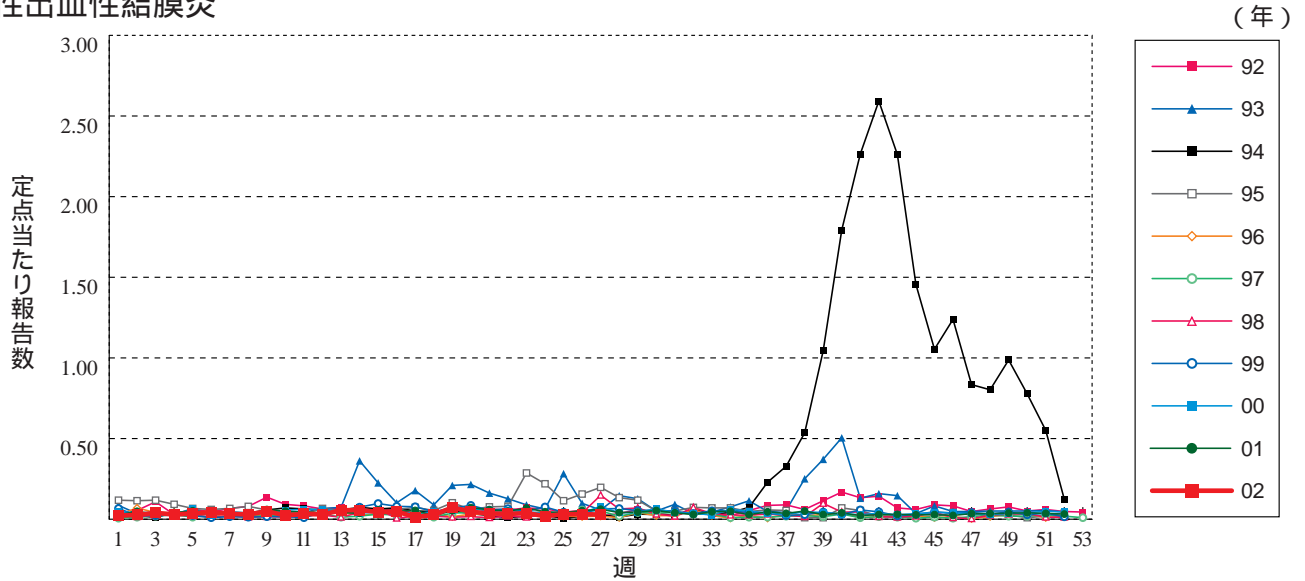
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



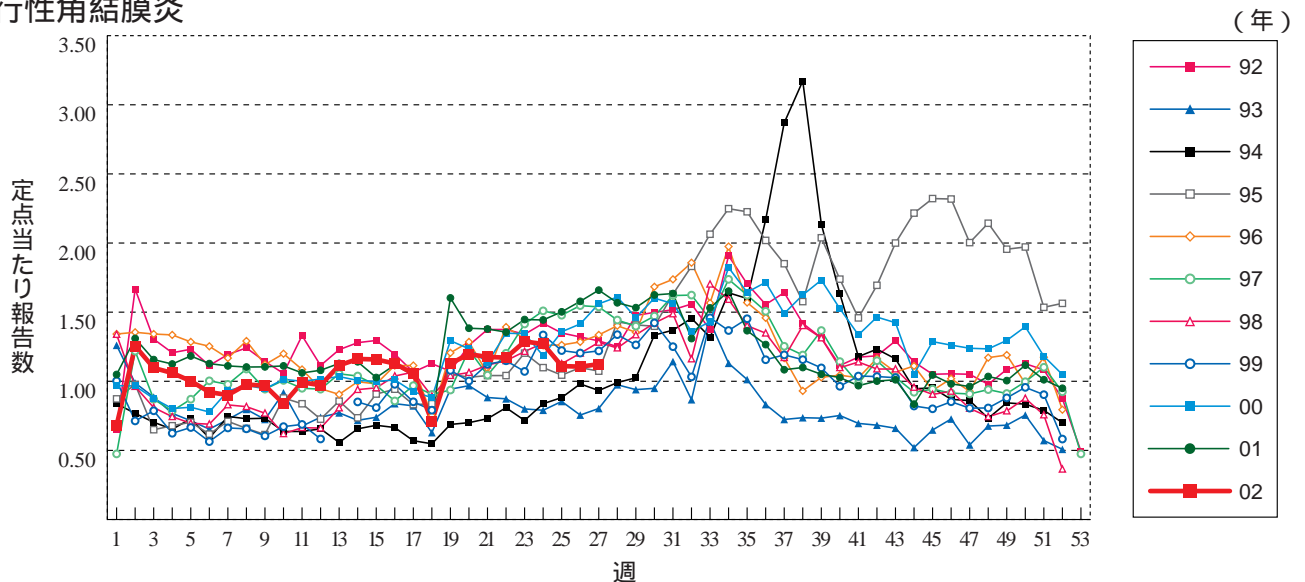
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

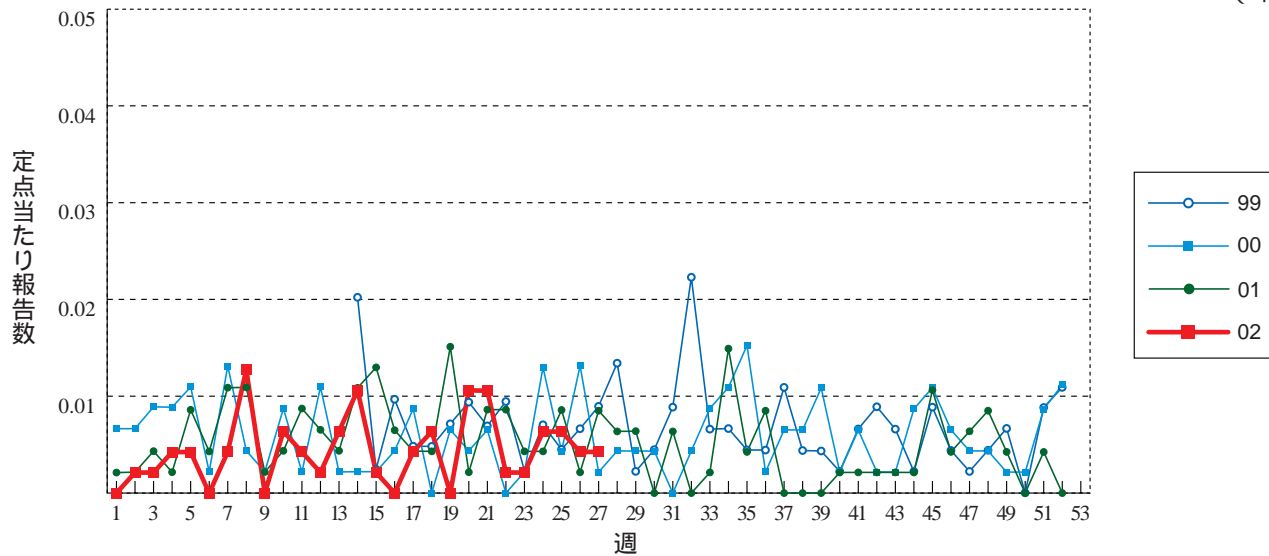


流行性角結膜炎



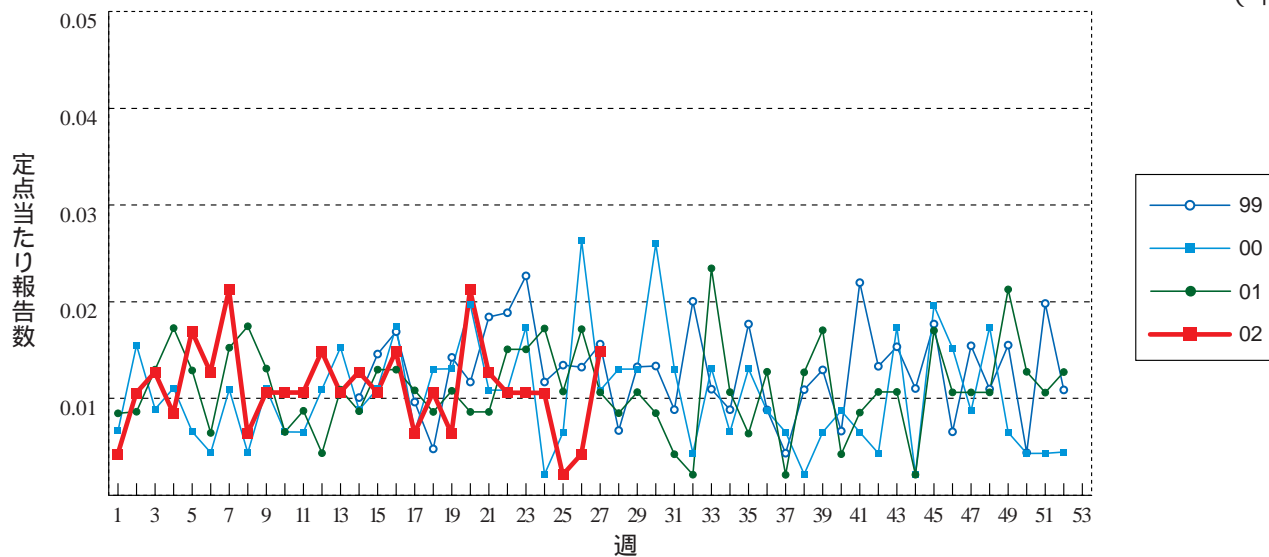
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



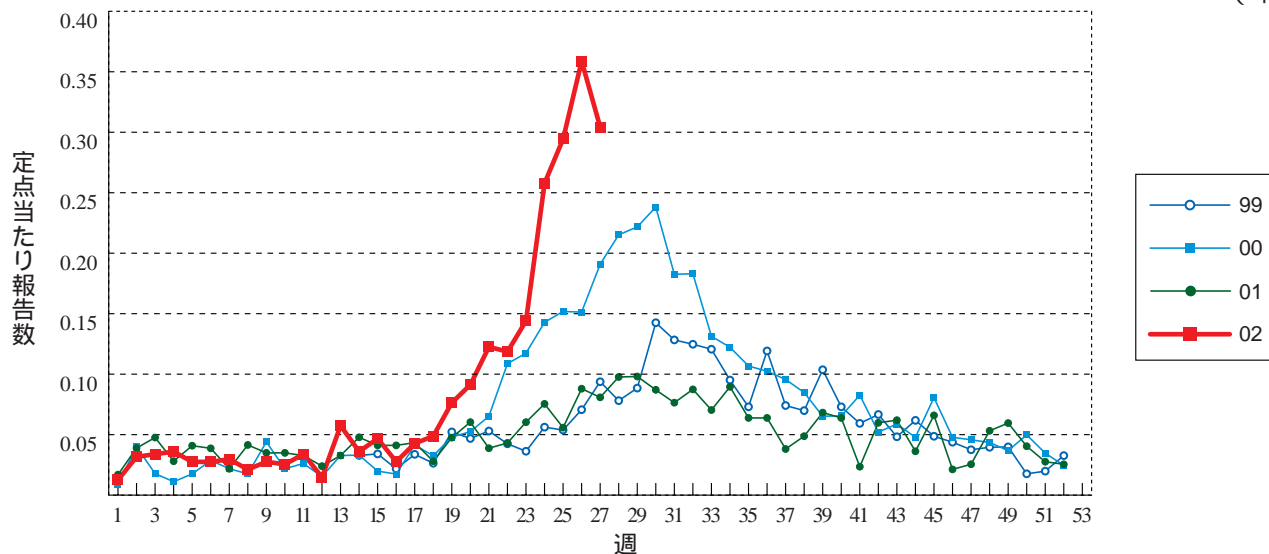
細菌性髄膜炎

(年)



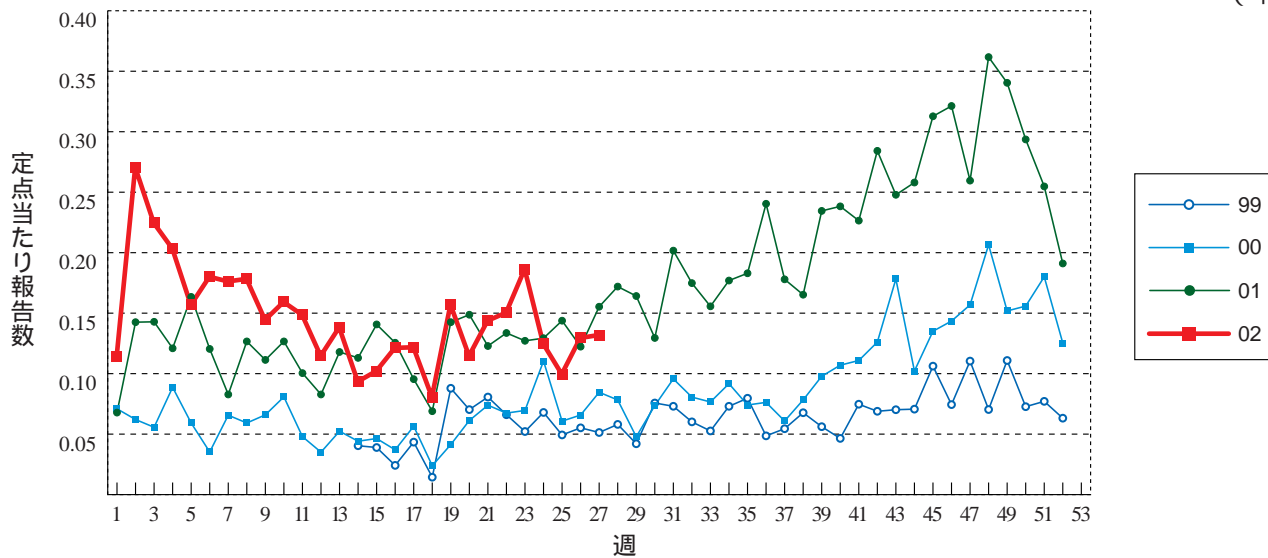
無菌性髄膜炎

(年)



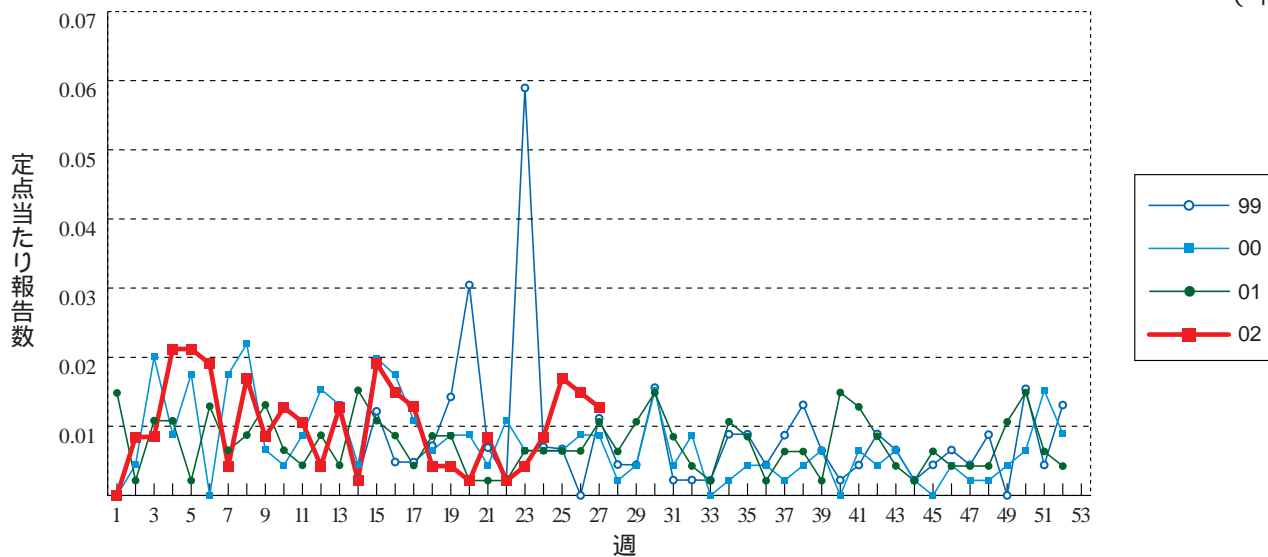
マイコプラズマ肺炎

(年)



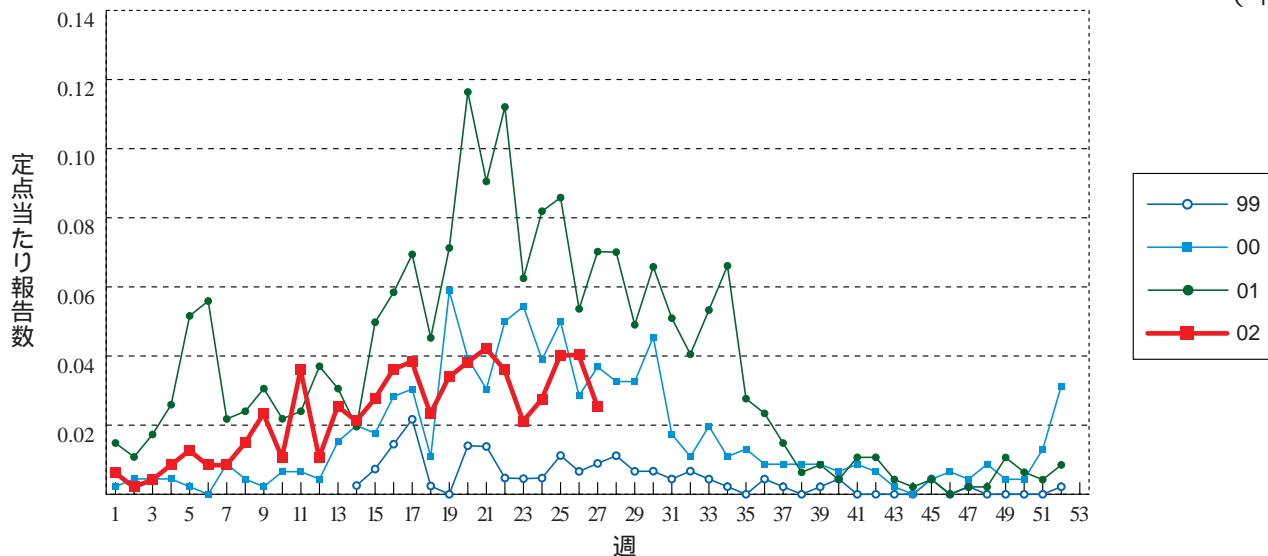
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





27週のデータ

注)表中の報告数は7月11日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年27週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	16	2	412	-	33	-	20
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	8	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	1	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	67	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	44	-	15	-	8
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	3	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	6	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	10	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	3	-	2
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	3	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	3	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年27週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	148	1017	7	229	1	5	-	-	1	41	-	-	8	585
北海道	-	-	-	-	1	17	-	9	-	4	-	-	-	3	-	-	-	10
青森県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	12	20	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
宮城県	-	-	-	-	1	15	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28
秋田県	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
山形県	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
福島県	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
茨城県	-	-	-	-	2	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
栃木県	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
群馬県	-	-	-	-	-	16	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
埼玉県	-	-	-	-	3	11	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
千葉県	-	-	-	-	68	88	2	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34
東京都	-	-	-	-	12	47	2	56	-	-	-	-	-	2	-	-	1	112
神奈川県	-	-	-	-	3	40	-	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29
新潟県	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	3	15	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	2	33	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
福井県	-	-	-	-	1	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	2	6	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	9
岐阜県	-	-	-	-	2	8	-	7	-	-	-	-	-	3	-	-	-	14
静岡県	-	-	-	-	2	11	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
愛知県	-	-	-	-	3	40	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27
三重県	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	1	3	-	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	1	33	-	8	-	-	-	-	-	2	-	-	-	16
大阪府	-	-	-	-	10	105	-	36	-	-	-	-	-	3	-	-	-	34
兵庫県	-	-	-	-	2	105	2	11	-	-	-	-	-	2	-	-	-	27
奈良県	-	-	-	-	-	17	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
和歌山県	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
鳥取県	-	-	-	-	2	10	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
島根県	-	-	-	-	1	16	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	2	43	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	14
広島県	-	-	-	-	-	22	-	2	-	-	-	-	-	8	-	-	1	12
山口県	-	-	-	-	1	4	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	17
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
香川県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
愛媛県	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	8
高知県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
福岡県	-	-	-	-	6	36	-	6	-	-	-	-	1	1	-	-	1	22
佐賀県	-	-	-	-	-	100	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	1	18	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	1	23	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
大分県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
宮崎県	-	-	-	-	-	11	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
鹿児島県	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
沖縄県	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年27週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	24	-	-	1	104	2	65	1	52	18	425	-	2	-	55	-	-
北海道	-	1	-	-	-	34	-	1	-	4	1	4	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	9	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	12	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	5	-	1	-	3	-	21	-	-	-	4	-	-
東京都	-	18	-	-	-	2	-	4	1	8	5	176	-	-	-	30	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	28	-	-	-	5	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	4	-	-	-	2	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	3	-	11	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	5	-	4	-	22	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	1	3	-	2	-	6	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	-	-	-	1	2	-	4	-	-	7	42	-	1	-	4	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	61	-	3	-	4	-	8	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	2	2	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年27週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	5	-	-	-	-	-	107	-	27	-	4	-	-	-	-	4	285
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14
青森県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山形県	-	-	-	-	-	-	-	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福島県	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	4
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
東京都	1	1	-	-	-	-	-	4	9	-	-	-	-	-	-	-	-	28
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	15
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	6
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	16
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	56
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	16
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	3
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
広島県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	2
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
大分県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年27週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	42	3	20	-	-	-	-	-	1	-	-	-	41	-	5	2	50
北海道	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
栃木県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
千葉県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
東京都	-	3	1	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	10	-	1	-	8
神奈川県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
富山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	1	2
大阪府	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	6
兵庫県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
岡山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
広島県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年27週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	237	0.05	525	0.17	3607	1.19	10827	3.58	5571	1.84	5239	1.73	2568	0.85	2592	0.86	25	0.01
北海道	8	0.03	34	0.23	306	2.11	268	1.85	374	2.58	79	0.54	57	0.39	101	0.70	-	-
青森県	-	-	2	0.05	15	0.36	34	0.81	117	2.79	43	1.02	57	1.36	18	0.43	1	0.02
岩手県	30	0.48	2	0.05	19	0.50	55	1.45	101	2.66	72	1.89	2	0.05	24	0.63	-	-
宮城県	10	0.10	4	0.07	64	1.08	386	6.54	162	2.75	160	2.71	35	0.59	30	0.51	-	-
秋田県	1	0.02	5	0.14	31	0.89	87	2.49	66	1.89	15	0.43	35	1.00	20	0.57	-	-
山形県	3	0.06	6	0.20	47	1.57	59	1.97	126	4.20	50	1.67	24	0.80	43	1.43	1	0.03
福島県	-	-	3	0.07	43	0.93	227	4.93	187	4.07	110	2.39	75	1.63	29	0.63	-	-
茨城県	1	0.01	6	0.08	62	0.84	182	2.46	125	1.69	126	1.70	150	2.03	34	0.46	1	0.01
栃木県	-	-	8	0.17	52	1.13	170	3.70	91	1.98	71	1.54	96	2.09	46	1.00	-	-
群馬県	-	-	10	0.18	101	1.84	145	2.64	111	2.02	57	1.04	79	1.44	48	0.87	1	0.02
埼玉県	1	0.00	71	0.44	269	1.68	759	4.74	422	2.64	417	2.61	149	0.93	187	1.17	1	0.01
千葉県	-	-	36	0.27	219	1.67	441	3.37	289	2.21	238	1.82	80	0.61	120	0.92	1	0.01
東京都	1	0.01	15	0.11	97	0.68	419	2.95	164	1.15	215	1.51	99	0.70	63	0.44	-	-
神奈川県	3	0.01	52	0.25	216	1.05	674	3.27	313	1.52	1147	5.57	209	1.01	216	1.05	-	-
新潟県	2	0.02	14	0.23	78	1.30	268	4.47	138	2.30	48	0.80	85	1.42	54	0.90	1	0.02
富山県	-	-	2	0.07	60	2.07	126	4.34	60	2.07	95	3.28	42	1.45	26	0.90	1	0.03
石川県	-	-	1	0.03	21	0.72	140	4.83	65	2.24	22	0.76	23	0.79	23	0.79	-	-
福井県	-	-	8	0.36	35	1.59	119	5.41	51	2.32	5	0.23	5	0.23	21	0.95	-	-
山梨県	5	0.12	-	-	32	1.28	39	1.56	38	1.52	7	0.28	8	0.32	5	0.20	-	-
長野県	1	0.01	18	0.33	99	1.83	218	4.04	166	3.07	47	0.87	120	2.22	37	0.69	-	-
岐阜県	-	-	3	0.06	46	0.98	64	1.36	115	2.45	26	0.55	48	1.02	28	0.60	2	0.04
静岡県	-	-	6	0.07	106	1.23	319	3.71	162	1.88	174	2.02	192	2.23	85	0.99	2	0.02
愛知県	1	0.01	22	0.12	224	1.23	468	2.57	273	1.50	527	2.90	112	0.62	151	0.83	4	0.02
三重県	-	-	5	0.11	63	1.40	265	5.89	87	1.93	29	0.64	72	1.60	50	1.11	-	-
滋賀県	1	0.02	22	0.69	22	0.69	87	2.72	73	2.28	29	0.91	20	0.63	21	0.66	-	-
京都府	1	0.01	7	0.09	45	0.59	322	4.24	90	1.18	41	0.54	46	0.61	56	0.74	-	-
大阪府	4	0.01	30	0.15	211	1.08	544	2.79	331	1.70	318	1.63	99	0.51	138	0.71	1	0.01
兵庫県	2	0.01	32	0.25	106	0.83	626	4.89	226	1.77	271	2.12	125	0.98	128	1.00	-	-
奈良県	-	-	1	0.03	27	0.77	107	3.06	74	2.11	74	2.11	45	1.29	25	0.71	1	0.03
和歌山県	-	-	1	0.03	24	0.77	79	2.55	47	1.52	87	2.81	32	1.03	20	0.65	-	-
鳥取県	-	-	2	0.11	20	1.05	112	5.89	29	1.53	51	2.68	44	2.32	21	1.11	-	-
島根県	4	0.11	7	0.30	11	0.48	47	2.04	24	1.04	16	0.70	27	1.17	15	0.65	1	0.04
岡山県	-	-	-	-	29	0.66	153	3.48	58	1.32	155	3.52	17	0.39	31	0.70	-	-
広島県	-	-	13	0.17	62	0.83	306	4.08	63	0.84	68	0.91	17	0.23	78	1.04	-	-
山口県	-	-	8	0.16	81	1.65	248	5.06	72	1.47	11	0.22	44	0.90	72	1.47	-	-
徳島県	13	0.34	2	0.09	26	1.13	67	2.91	29	1.26	10	0.43	17	0.74	17	0.74	2	0.09
香川県	-	-	1	0.03	22	0.69	181	5.66	31	0.97	87	2.72	10	0.31	28	0.88	-	-
愛媛県	-	-	5	0.13	78	2.00	177	4.54	77	1.97	26	0.67	58	1.49	47	1.21	-	-
高知県	-	-	7	0.23	30	0.97	59	1.90	34	1.10	84	2.71	7	0.23	18	0.58	-	-
福岡県	2	0.01	16	0.13	162	1.35	620	5.17	161	1.34	25	0.21	36	0.30	132	1.10	3	0.03
佐賀県	-	-	2	0.09	46	2.00	34	1.48	28	1.22	-	-	5	0.22	36	1.57	-	-
長崎県	-	-	2	0.05	31	0.70	126	2.86	26	0.59	6	0.14	19	0.43	22	0.50	-	-
熊本県	-	-	5	0.10	99	2.02	262	5.35	101	2.06	12	0.24	16	0.33	59	1.20	-	-
大分県	-	-	3	0.08	44	1.22	259	7.19	55	1.53	3	0.08	7	0.19	63	1.75	1	0.03
宮崎県	-	-	14	0.38	73	1.97	236	6.38	54	1.46	7	0.19	16	0.43	47	1.27	-	-
鹿児島県	9	0.09	9	0.15	51	0.85	221	3.68	43	0.72	15	0.25	7	0.12	44	0.73	-	-
沖縄県	134	2.31	3	0.09	2	0.06	22	0.65	42	1.24	63	1.85	-	-	15	0.44	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年27週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	91	0.03	9869	3.26	285	0.09	4315	1.43	18	0.03	709	1.12	2	0.00	7	0.01	143	0.30
北海道	5	0.03	96	0.66	-	-	114	0.79	-	-	21	0.72	-	-	-	-	-	-
青森県	4	0.10	109	2.60	15	0.36	106	2.52	-	-	13	1.18	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	114	3.00	1	0.03	158	4.16	1	0.08	13	1.08	-	-	-	-	-	-
宮城県	2	0.03	104	1.76	3	0.05	217	3.68	1	0.09	4	0.36	-	-	-	-	-	-
秋田県	1	0.03	57	1.63	3	0.09	72	2.06	-	-	5	0.71	-	-	1	0.13	-	-
山形県	-	-	139	4.63	2	0.07	99	3.30	-	-	2	0.25	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	122	2.65	9	0.20	121	2.63	2	0.17	15	1.25	-	-	-	-	-	-
茨城県	1	0.01	122	1.65	4	0.05	57	0.77	-	-	38	2.38	-	-	1	0.09	1	0.09
栃木県	1	0.02	265	5.76	1	0.02	103	2.24	-	-	16	1.33	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	382	6.95	1	0.02	98	1.78	-	-	51	4.25	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	753	4.71	6	0.04	191	1.19	2	0.06	65	1.86	-	-	-	-	1	0.11
千葉県	1	0.01	876	6.69	30	0.23	156	1.19	-	-	40	1.14	-	-	1	0.08	2	0.15
東京都	2	0.01	584	4.11	6	0.04	108	0.76	1	0.07	20	1.43	-	-	-	-	3	0.12
神奈川県	4	0.02	1206	5.85	14	0.07	218	1.06	5	0.12	63	1.50	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	324	5.40	-	-	127	2.12	-	-	9	1.00	-	-	-	-	3	0.23
富山県	1	0.03	185	6.38	1	0.03	65	2.24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	30	1.03	1	0.03	33	1.14	-	-	5	0.71	-	-	-	-	2	0.40
福井県	1	0.05	109	4.95	5	0.23	17	0.77	-	-	-	-	-	-	-	-	5	0.83
山梨県	1	0.04	19	0.76	7	0.28	62	2.48	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.20
長野県	2	0.04	152	2.81	8	0.15	64	1.19	-	-	12	1.20	-	-	-	-	2	0.18
岐阜県	1	0.02	161	3.43	20	0.43	46	0.98	-	-	4	0.36	-	-	-	-	-	-
静岡県	2	0.02	421	4.90	29	0.34	135	1.57	-	-	7	0.35	-	-	-	-	-	-
愛知県	6	0.03	737	4.05	29	0.16	179	0.98	-	-	19	0.54	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	189	4.20	2	0.04	63	1.40	1	0.08	1	0.08	-	-	-	-	12	1.33
滋賀県	-	-	37	1.16	-	-	34	1.06	-	-	4	0.57	-	-	-	-	8	1.14
京都府	7	0.09	81	1.07	2	0.03	38	0.50	-	-	18	1.00	-	-	-	-	2	0.33
大阪府	11	0.06	663	3.40	7	0.04	132	0.68	2	0.04	31	0.60	-	-	-	-	5	0.33
兵庫県	1	0.01	421	3.29	10	0.08	199	1.55	-	-	28	0.78	-	-	-	-	3	0.23
奈良県	-	-	112	3.20	6	0.17	68	1.94	-	-	10	1.11	-	-	-	-	7	1.17
和歌山県	-	-	50	1.61	-	-	39	1.26	-	-	4	1.00	2	0.18	1	0.09	2	0.18
鳥取県	-	-	48	2.53	1	0.05	52	2.74	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.80
島根県	-	-	28	1.22	2	0.09	40	1.74	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	8	0.18	26	0.59	13	0.30	138	3.14	1	0.13	15	1.88	-	-	-	-	3	0.75
広島県	2	0.03	114	1.52	5	0.07	77	1.03	-	-	28	1.40	-	-	-	-	24	1.14
山口県	-	-	88	1.80	4	0.08	61	1.24	-	-	15	1.67	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	26	1.13	1	0.04	48	2.09	-	-	2	0.50	-	-	-	-	1	0.17
香川県	-	-	37	1.16	5	0.16	18	0.56	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	74	1.90	-	-	73	1.87	1	0.14	9	1.29	-	-	-	-	1	0.17
高知県	-	-	49	1.58	-	-	19	0.61	-	-	10	3.33	-	-	1	0.13	11	1.38
福岡県	19	0.16	255	2.13	8	0.07	120	1.00	-	-	39	1.50	-	-	-	-	2	0.13
佐賀県	-	-	35	1.52	2	0.09	18	0.78	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	41	0.93	3	0.07	76	1.73	1	0.13	9	1.13	-	-	-	-	1	0.08
熊本県	-	-	112	2.29	5	0.10	26	0.53	-	-	16	1.78	-	-	1	0.07	26	1.73
大分県	1	0.03	74	2.06	6	0.17	83	2.31	-	-	3	0.60	-	-	-	-	-	-
宮崎県	5	0.14	150	4.05	-	-	153	4.14	-	-	24	6.00	-	-	1	0.14	7	1.00
鹿児島県	1	0.02	89	1.48	3	0.05	126	2.10	-	-	5	0.83	-	-	-	-	1	0.08
沖縄県	1	0.03	3	0.09	5	0.15	68	2.00	-	-	13	1.30	-	-	-	-	2	0.29

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成14年27週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	62	0.13	6	0.01	12	0.03
北海道	1	0.04	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	4	0.20	-	-	-	-
宮城県	3	0.25	1	0.08	-	-
秋田県	6	0.75	-	-	-	-
山形県	1	0.10	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.14	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	1	0.11	-	-
千葉県	3	0.23	-	-	3	0.23
東京都	5	0.20	-	-	1	0.04
神奈川県	-	-	-	-	3	0.27
新潟県	2	0.15	-	-	-	-
富山県	1	0.20	-	-	-	-
石川県	1	0.20	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	1	0.10	-	-
長野県	-	-	1	0.09	-	-
岐阜県	1	0.25	-	-	-	-
静岡県	1	0.10	-	-	-	-
愛知県	1	0.08	-	-	1	0.08
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	4	0.57	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	2	0.13	-	-	-	-
兵庫県	1	0.08	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	2	0.25	-	-	-	-
岡山県	3	0.75	-	-	-	-
広島県	1	0.05	-	-	-	-
山口県	1	0.13	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	1	0.20	-	-	-	-
愛媛県	1	0.17	-	-	1	0.17
高知県	2	0.25	-	-	-	-
福岡県	1	0.07	2	0.13	2	0.13
佐賀県	1	0.17	-	-	-	-
長崎県	3	0.25	-	-	-	-
熊本県	1	0.07	-	-	-	-
大分県	1	0.09	-	-	1	0.09
宮崎県	3	0.43	-	-	-	-
鹿児島県	2	0.17	-	-	-	-
沖縄県	1	0.14	-	-	-	-

感染症週報 第4巻、第27号 平成14年7月19日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
 <厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。